

独法文防第 号  
平成 28 年 9 月 1 日

一般社団法人 文化財保存修復学会  
理事長 三浦 定俊 殿

独立行政法人国立文化機構理事長  
文化財防災ネットワーク推進本部長  
佐々木 丞平

### 被災動産文化財の修理設計の協力について（回答）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より当機構の事業に、多大のご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

当機構は、熊本県を中心とする地震によって熊本県及び近隣の各県で文化財に被害に対し、熊本県被災文化財レスキュー事業の実施し、熊本県との連携のもと九州国立博物館を九州救援対策本部として、その運営を行っております。これに関連して、文化遺産防災ネットワーク推進会議に参画されている各団体に対して、6月30日に開催された文化遺産防災ネットワーク推進会議臨時連絡会において、協力をお願い申し上げたところです。

この度は、貴学会より早速に「文化財レスキュー活動の際する応急措置方法に関する技術支援」と、「救援後に所有者より被災文化財の修理の希望があった場合の修理設計の作成」の2点について、特に協力のお申し出を頂戴し、まことに感謝に堪えません。

お申し出を頂いた内容はいずれも非常に重要な項目であり、関係者に周知し、適切に現地の需要を把握し、おって推進室より貴学会へ連絡をさし上げるようにいたします。

引き続き、文化財防災ネットワーク推進事業にご支援をたまわりますよう、お願い申し上げます。

連絡先：独立行政法人国立文化財機構  
文化財防災ネットワーク推進室

TEL：

Mail：